

第 36 期

中間事業報告書

(平成15年10月1日から
平成16年3月31日まで)

ユニベルス株式会社

〒104-0041 東京都中央区銀座7-16-3 .03-5148-3000 (代表)

営業報告書

(自 平成15年10月1日
至 平成16年3月31日)

1. 営業の概況

営業の経過および成果

全般的概況

当社は前々期より、営業収益の向上、在庫圧縮による収益構造の改善、また次世代の収益に向けた製品開発等の努力を続け、2期連続の赤字から脱却して黒字基盤確立を進めてまいりました。

しかしながら、ロジスティクス部門での一部失注があり、当中間会計期間は前年同期に比べまして売上高は215百万円減少し、それに伴い営業利益は20百万円減少、経常利益は21百万円減少、中間純利益も10百万円減少いたしました。黒字体質は定着しつつあります。

部門別概況

セグメント別の売上高を見ますと、ウェイング・FA（ファクトリーオートメーション）事業は、景気の低迷・設備投資の冷え込みの影響があるものの、地道な営業戦略、OEM先への提案営業が実り、前年同期に比べまして、115百万円（対前年同期比14.3%増）の増加となりました。

ロジスティクス事業は、前中間会計期間は大型センターが集中し、当中間会計期間は一部失注したことの対比により前年同期に比べまして、573百万円（対前年同期比85.5%減）の減少となりました。

セキュリティ事業は、SAS（物品監視システム）中心となり、前年同期と横ばいとなりました。

情報・通信事業は、EIS（エレクトリック・インフォメーション・システム）の販売が大きく貢献し、前年同期に比べまして263百万円（対前年同期比1,962.7%増）の増加となりました。

最後に、その他電子機器は、微増にとどまりました。

収益面を見ますと、全体の売上高は前年同期に比べまして215百万円減少しましたが、利益率の高いウェイング・FA事業及び情報・通信事業の売上高が増加したため、売上総利益は18百万円の減少にとどまりました。

販売費及び一般管理費は、経費削減努力を継続しておりますが、広告宣伝費、旅費交通費、販売促進費等の販売費が増加し、前年同期に比べまして2百万円の増加となりました。

売上総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前年同期に比べまして、20百万円減少いたしました。

営業外損益、特別損益には大きな変化はなく、前年同期に比べまして、経常利益は21百万円の減少、中間純利益は10百万円の減少となりました。

この結果、当中間会計期間の売上高は1,646百万円（対前年同期比88.4%）、経常利益45百万円（対前年同期比67.5%）、中間純利益20百万円（対前年同期比66.1%）となり、黒字が定着しつつあります。

2. 会社の概況（平成16年3月31日現在）

(1) 主要な事業内容

当社はエレクトロニクス機器の開発、製造、販売を主な事業の内容とし、高度なエレクトロニクス関連技術でさまざまな製品を産業界に送り出しております。

コアとなる技術はコンピュータ、通信、画像処理等であり、打ち合わせから開発・製造アフターサービスまで一貫した生産活動を行っております。

ユーザーは、工業計測・計重・重工・自動車・機械・食品・物流・環境・メディカル・セキュリティ等多岐に亘っております。

[主要製品]

区 分	主 要 用 途	品 目
製	ウェィング 自動計量制御 (液体、粉体の連続充填の計量制御、トラックスケール、ホッパースケール、パッカースケール、ウェイトチェッカー、食品加工プラント、化学プラントの計重、配合計量)	ロードセル指示計、ウェィングコントローラ
	ファクトリーオートメーション ファクトリーオートメーションシステムの中で圧入、加締め、トルク等の計測、制御管理	デジタル指示計、ダイナミック・フォース、プロセッサ、DCアンプ、ロードセルコンバータ、シグナルコンディショナ
品	環 境 環境（大気、水質、地震、振動、騒音）の計測、分析、記録、通信	データロガー、地震計、田んぼ通信
	ロジスティクス サプライチェーン・マネジメントを実現する手段としてのカートマネジメントシステム 棚卸支援	CMS（カートマネジメントシステム）、オーダー端末
	セキュリティ 防犯、機密保持、偽造防止、万引き防止	SAS（物品監視システム）
	情報・通信 生産現場での各データ記録、収集、分析による品質向上、生産性の向上	プロセスレコーダー、データロガー、インテリジェントプリンタ、LIF-DU
	その他の電子機器 その他	アルチバリオNANA
商 品	当社製品と組み合わせるセンサー等用途はウェィング、ファクトリーオートメーションと同じ	ロードセル、キャリブレータ、mmEye

(2) 主要な営業所及び工場

本 社 東京都中央区銀座七丁目16番3号
営 業 所 技術センター（埼玉県越谷市）
大阪支店（大阪府大阪市）
名古屋営業所（愛知県名古屋市）
広島営業所（広島県広島市）
福岡営業所（福岡県福岡市）

(3) 株式の状況

会社が発行する株式の総数 17,000,000株
発行済株式の総数 5,370,500株
株 主 数 4,061名
大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
吉 本 喬 美	1,246,300株	23.24%		
星 竹 夫	134,000株	2.50%		
ユニパルス社員持株会	125,700株	2.34%		
株式会社みずほ銀行	124,000株	2.31%		
株式会社三井住友銀行	124,000株	2.31%		
住友生命保険相互会社	110,000株	2.05%		
UFJ信託銀行株式会社	100,000株	1.86%		
日本生命保険相互会社	100,000株	1.86%		

(4) 従業員の状況

従業員数		前中間比増減	平均年令	平均勤続年数
男性	112名	(-) 10名	36.23才	7.65年
女性	28名	(-) 3名	33.60才	5.14年
合計又は平均	140名	(-) 13名	36.22才	7.25年

(注) パートタイマー及び嘱託契約者45名(8時間就業換算人員)を含んでおりません。

(5) 取締役及び監査役

地 位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役会長	吉 本 喬 美	
代表取締役社長	後 藤 克 誓	
取 締 役	和 田 倫 幸	経営統括本部長
取 締 役	星 竹 夫	営業推進担当
取 締 役	石 丸 義 信	技術センター統括 兼 技術部長
監 査 役 (常勤)	小 原 正 一	
監 査 役	藤 井 幸 弘	税 理 士
監 査 役	山 本 清 次	公 認 会 計 士
監 査 役	大 村 卓	

- (注) 1. 取締役 高塚輝三 石丸義信及び後藤克誓の3氏は平成15年12月6日付で就任しました。
2. 代表取締役社長 吉本喬美氏は平成16年3月30日付で代表取締役会長に就任しました。
3. 取締役 後藤克誓氏は平成16年3月30日付で代表取締役社長に就任しました。
4. 取締役 高塚輝三 小川岳夫の両氏は平成16年3月31日付で退任しました。
5. 監査役 大村 卓氏は平成15年12月6日付で就任しました。
監査役 小原正一 藤井幸弘 山本清次及び大村 卓の4氏は、「株式会社
の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

中間貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	4,643,711	流動負債	1,596,478
現金及び預金	1,752,826	支払手形	480,619
受取手形	499,495	買掛金	117,716
売掛金	616,791	短期借入金	100,000
たな卸資産	1,660,584	一年以内に返済予定の 長期借入金	807,684
繰延税金資産	88,488	未払法人税等	4,306
その他	31,109	その他	86,152
貸倒引当金	5,584	固定負債	1,826,706
固定資産	3,770,199	長期借入金	1,437,125
有形固定資産	2,299,961	退職給付引当金	28,247
建物	833,941	役員退職慰労引当金	321,546
土地	1,265,095	その他	39,787
その他	200,923	負債合計	3,423,184
無形固定資産	59,815	資 本 の 部	
投資その他の資産	1,410,423	資本金	1,731,575
投資有価証券	903,131	資本剰余金	1,731,475
繰延税金資産	396,347	資本準備金	1,431,475
その他	110,991	その他資本剰余金	300,000
貸倒引当金	46	利益剰余金	1,657,310
資産合計	8,413,911	利益準備金	60,922
		任意積立金	1,566,400
		中間未処分利益	29,988
		株式等評価差額金	129,634
		資本合計	4,990,726
		負債及び資本合計	8,413,911

中間損益計算書

(自 平成15年10月1日
至 平成16年3月31日)

(単位：千円)

	科	目	金額
経常損益 の部	営業損益の部	営業収益	1,646,298
		売上高	
		営業費用	1,158,761
		売上原価 販売費及び一般管理費	430,607
		営業利益	56,929
	営業外損益の部	営業外収益	3,627
		営業外費用	15,090
経常利益		45,466	
特別損益 の部	特別利益	22,899	
	特別損失	27,819	
	税引前中間純利益	40,546	
	法人税、住民税及び事業税	4,371	
	法人税等調整額	15,801	
	中間純利益	20,373	
	前期繰越利益	9,614	
	中間未処分利益	29,988	

株 主 メ モ

決 算 期 日 9月30日

定 時 株 主 総 会 12月中

1 単元の株式数 100株

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載しております。

貸借対照表等の掲載場所は次のとおりであります。

<http://www.unipulse.com/jp/ir/calcrep.html>

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社

同 取 扱 場 所 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店